



ふ れ あ い 市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

油断なく感染予防の継続を！

早いもので、令和3年も3月となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1月14日から兵庫県なども実施区域となった緊急事態宣言は、大幅な減少傾向を見せない新規感染者数、逼迫する医療の状況などから、2月7日に解除されず延長されました。幸いにして2月に入り、新規感染者数は減少傾向ですが、油断は禁物です。洲本健康福祉事務所の分析によりますと、現在のところ淡路地域では島内の街中で不特定の人から人に伝染する、いわゆる市中感染というようなことは発生していません。引き続き、家庭内も含めた手洗い、マスク着用やこまめな換気、通勤や通学、通院など必要な場合を除いた都市部との往来自粛など、感染予防の継続をお願いします。

万一、ご自身や同居家族がPCR検査等を受けることになった、あるいは検査で陽性になった場合は、ご自身やご家族の通われている施設など（介護・障害福祉事業所、学校、保育所、職場など）に速やかに連絡してくだ

さい。市の方では、各施設などとの連携を図っており、ご連絡いただくことにより、迅速な感染拡大防止対策がとれるようにしていますので、ご協力よろしくお願いします。

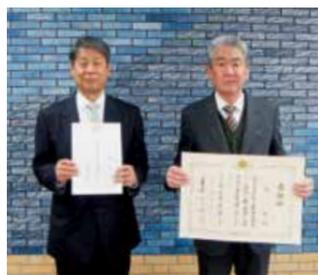
また、繰り返し申しあげていることですが、感染者やそのご家族、医療従事者の方などへの不当な偏見や差別につながるような人権への配慮をお願いします。

緊急事態宣言期間においては、どうしても家に閉じこもりがちです。特に高齢者の方々は、宅内でもできる簡単な体操などで体を動かしていただき、気分転換とフレイル予防に努めていただきたいと思います。さんさんネットコミュニティチャンネルの教育教養番組(午前11時・午後11時)では、フレイル予防の料理や、自宅で簡単にできる体操・脳トレなどの番組をお送りしていますので、ぜひ参考になさってください。

最後になりましたが、私、1月31日執行の南あわじ市長選挙において、2期目の付託をいただきました。新型コロナウイルス感染症拡大に適切に対処するため、対話と行動により切れ目ない施策の執行に努めることはもちろんですが、コロナ禍の影響で注目されているテレワークやワーケーション、サテライトオフィス、移住定住への機運をチャンスととらえ、それらについても積極的に取り組んでまいりたいと思います。

市民の皆さまにおかれましては、引き続き、市政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

2月5日、神戸地方法務局洲本支局で、1月1日付で人権擁護委員に就任した川西六生さん(松帆)に委嘱状が伝達されました。任期は3年間となります。人権擁護委員は、法務大臣から委嘱される民間ボランティアで、人権相談や人権の考えを広める活動を行います。また、令和2年12月31日



(左から)川西さんと岡さん

で退任した岡一秀さん(志知)には、法務大臣から感謝状が贈られました。

人権擁護委員に委嘱状・感謝状を贈呈



初登庁し、職員から花束を受け取る守本市長

南あわじ市長に 守本憲弘氏が再選

任期満了に伴う南あわじ市長選挙で、現職の守本憲弘市長が無投票で再選されました。任期は4年間です。2月1日には、守本市長が市役所に初登庁。玄関前に集まった幹部職員らに「自ら考えて試行錯誤する、信頼を積み重ねる、言葉を磨く」の3点に取り組んでほしい」と訓示しました。

アイ・エス・フーズ(志知)が 農林水産大臣賞を受賞



受賞を喜ぶ(左から)山本琢也社長、酒井会長、酒井貴弘取締役

アイ・エス・フーズ株式会社(志知・酒井恵司会長)が、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を表彰する「全国優良経営体表彰」の経営改善部門で、農林水産大臣賞を受賞しました。

同表彰は、意欲と能力のある農業者の一層の経営発展を目的に、農林水産省と



バケツに入った水にジャガイモを入れて実験を行う児童

野菜と仲良くなるきっかけを おいしい！野菜チャレンジ

放課後に児童らが芸術やスポーツなどのプログラムを体験する「アフタースクール事業」。同事業の一環として、1月20日に広田小学校でオンラインプログラム「おいしい！野菜チャレンジ」が開催されました。

同プログラムは、子どもたちの野菜不足解消を目的に、カゴメ株式会社と放課後NPOアフタースクールが共同開発したものです。この日は、広田学童保育の児童34人が参加し、画面に写る野菜の名前を当てたり、野菜が水に浮くか沈むかを実験したりして、楽しく学びました。2年生の田中陽菜里さんは「ホウレン草が苦手だけど頑張って食べてみようと思う」と話しました。

卒業論文発表会 開催

2月10日、農学部4年生による卒業論文発表会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、密を避けるための対応など、例年とは異なる雰囲気での発表会となりましたが、これまでの実験や調査、研究の成果が発表され、在学生や教員からは質疑や感想が述べられました。学生たちは、アルバイトやインターンシップなどの課外活動で南あわじ市の方々と多く触れ合い、日々成長してきました。4月からは社会人として全国各地へ飛び立ちます。4年間をかけて培った南あわじでの学び、経験を糧に社会で活躍されることを願っています。

同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700

吉備国際大学からのお知らせ



発表会の様子

